



同じ中学校に通う同級生、**戸山ミナちゃん**と**平山ジローくん**。米子の歴史や文化(カルチャー)にくわしい**かるちゃん**といっしょに米子城の魅力や謎に迫ります。今回は、二の丸を中心に城の構造について学びます。

ミナちゃん：米子城は、湊山の山頂のあたりに**本丸**があって、そのふもとはは**二の丸**、**三の丸**があったのよね。

ジローくん：二の丸はテニスコートのあたり、三の丸は湊山球場のあたりだね。

かるちゃん：そうだね。絵図を見るとわかるけど、二の丸は二段の郭で構成されていて、城主の御殿や武器庫、侍部屋なんかがあったんだよ。米子城が完成した時の城主中村一忠はここに住んでいたといわれているんだ。その後、池田光仲が因伯の領主だった時代に米子城預りだった荒尾氏も、普段は鳥取に住んでいたんだけど、米子に来たときにはこの二の丸御殿を使っていたんだよ。

ミナちゃん：二の丸は城下を取りしきる重要な施設があったところなのね。

ジローくん：テニスコートのとなりに武家屋敷みたいな建物があるけど、それが城主の御殿の一部なのかな。

かるちゃん：あれは**旧小原家長屋門**といって、荒尾氏の家臣だった小原家の屋敷の建物の一部で、もともと西町(現在の高島病院あたり)にあったのが昭和28年に米子市に寄贈され、現在地に移築されたものなんだ。以後昭和59年まで「山陰歴史館」として使われていたんだよ。二の丸の建物ではないんだけど、米子市で唯一の現存する武家屋敷の建物であるということで、市指定有形文化財にもなっているんだ。

ジローくん：へえー、そういえばあの建物が山陰歴史館だったというのはお父さんから聞いたことがあるな。御殿の跡は残っていないのかなあ。

かるちゃん：現在、米子城の裏門にあたる**太鼓御門跡**や**御殿御用井戸**の遺構が確認されているんだけど、今後さらに発掘調査をすれば、新たな御殿の痕跡が見つかるかもしれないね。今見ることができる二の丸の遺構の中で最も特徴的なものの一つが、**高石垣**とも呼ばれる**石垣**だね。

ミナちゃん：湊山球場のライトスタンドのところに見える大きな石垣がそれね。高さも相当あるし、屏風のように折れ曲がっているのも特徴ね。

かるちゃん：二の丸は御殿があるところだから、防御のためにも、権威を見せつけるためにも高い石垣を積む必要があったんだ。現在スタンドの上に見える部分だけでも高さが10メートル以上もあるから、土壁に埋もれている部分を掘り出せばさらに壮観だろうね。それと、石垣は一直線ではなくわざと折り曲げて作られているんだけど、これは、石垣の上から見たときの死角をなくし、横からも矢をかけられる**横矢掛け**という守りのための工夫なんだ。

ジローくん：なるほど、これなら三の丸から敵が攻めてきても、簡単には攻略できないね。

ミナちゃん：二の丸高石垣の全貌現る！っていうふうになれば素敵ね。すごい迫力ありそうだし、わくわくするわね。

話はまだまだ終わらないようです。次回も引き続き**二の丸**や**三の丸**について学びます。おたのしみに！！

(米子市教育委員会 文化課)



米子御城石垣修復御願絵図
(寛文7年(1667)年)〈杉本コレクション〉



旧小原家長屋門
(米子城跡ガイドウォーク)



二の丸の高石垣
(米子城跡ガイドウォーク)